

第十七回 庭野平和賞贈呈式 あいさつ

第十七回庭野平和賞贈呈式にあたりまして、庭野平和財団を代表し、ひとこと、ごあいさつを申し上げます。

このたび第十七回庭野平和賞を、韓国のクリスチャン・アカデミーの設立者でありますカン・ウォンヨン博士にお贈りできましたことを、私はたいへん光栄に存じます。

カン博士は韓国宗教界を代表する指導者の一人として、韓国国内での社会正義の実現に尽力されたのをはじめ、文化・芸術の振興など、幅広い分野で活動をしてこられました。

同時に、諸宗教の対話と協力のために献身され、一九八六年にはソウルで開催された第三回アジア宗教者平和会議を成功に導かれました。最近では、第七回世界宗教者平和会議の大会準備委員長を務められ、昨年十一月、ヨルダンの首都アンマンでの世界会議開催を、精力的なご活躍により支え続けられたことは、私どもの記憶にまだ新しいことでもあります。

また、庭野平和財団の創設者である庭野日敬・前総裁とは宗教と国の違いを超え、肝胆相照らす同志としてアジア宗教者平和会議、世界宗教者平和会議、並びに日韓宗教者の交流活動などを牽引してこられたことは、つとに知られております。私も会議等でお目にかかるたびごとに、カン博士から多方面にわたる種々のご示唆をいただき、その温かなお心に導かれて参りました。庭野・前総裁は昨年十月、残念ながら入寂されましたが、カン博士への平和賞贈呈を、だれよりも一番、喜ばれていることと思います。

カン博士は国際会議で議長を務められるときなどに見られるように、豊かな経験と卓越した指導力で衆議を善導し、あたかも名裁判官を思わせるような、厳としたリーダーであり、半面、個人的な一对一のふれあいにおいては、すぐれた知徳と細かな配慮をもって接して下さり、まるで、父親のように親身な思いやりに満ちた、情愛の人であります。それら、いづれにも共通しておりますことは、宗教的な信念に裏打ちされた、愛の実践ということなのです。

日本と韓国はいにしえより善隣友好関係をもつ間柄にありながら、先の大戦時には日本の軍事的な横暴によって、韓国並びに朝鮮民主主義人民共和国の人々に深い悲しみといたみを負わせ、そのことによる日韓の両国民間の溝は、いまだ埋められていないのが現状です。

戦争体験の有無を問わず、すべての日本国民はその事実を忘れることなく、隣国の人々のいたみと悲しみを共有していかねばなりません。

この不幸な関係を一日も早く乗り越え、両国の国民間に和解と信頼を取り戻し、協調と友好の絆を修復することは東アジア全体、ひいては世界の平和のためには不

可欠な要因と言えます。

国と国との友好関係及び真の平和は、国家間の外交交渉によってのみもたらされるものではなく、より重要なのは、人と人との間に友情と信頼を構築することにあります。宗教はその中で重要な役割を果たすことができます。

それぞれの宗教に基く霊性の交流は互いの不信を払拭して理解を促し、ともにかみほとけの子として尊いいのちを生きるものであることに目覚め、合掌礼拝の世界へと導きます。

私たち人間はすべて、一つのいのちを生きています。言葉を代えますと、みんな神仏の子であり、兄弟姉妹であるということです。しかし、個々の人間は、民族、国家、言語、宗教など、それぞれ異なる文明・文化の下に多様に生きています。

その関係をたとえて言いますならば、大海に織りなす波の一つ一つは多様で、全く個性的な表れ方をしているが、それらは皆、海水という共通のいのちの現われである――、とそのように言えると思います。仏教ではこの総体と個の関係を「一即一切」又は「一即多」といい、それぞれの個人を尊重すると同時に一つに連なるいのちの自覚の大切さを教えています。

アメリカの著名な国際政治家であるサミュエル・ハンチントン教授は、「来るべき時代には文明の衝突こそが世界平和にとって最大の脅威であり、文明にもとづいた国際秩序こそが世界戦争を防ぐ最も確実な安全装置である」と述べています。その文明を支える中心的な基盤と言われる宗教の役割は、ますます大きくなると思われます。

宗教の排他独善は平和を脅かす要因であることは、すでに歴史が証明するところでもあります。自らの宗教の絶対性を信ずると共に、「絶対の相対化」の見地に立って、他の宗教を認め、常に宗教の生命尊重の共通の本義に立脚していくことが肝要です。それが、宗教による平和の道を開いていくもといとなると信じます。

その意味からも、諸宗教対話と協力に心血を注がれているカン博士の、大所高所からの一層のご活躍を期待いたすものであります。

本日、ここに「第十七回庭野平和賞」をカン・ウォンヨン博士にお贈り出来ましたことに、深く感謝申し上げます、あいさつとさせていただきます。

ありがとうございました。

二〇〇〇年五月十二日

庭野平和財団総裁 庭野日鑛